

第 2 期実施計画（案）の修正内容について

項 目	第 2 期実施計画（案）	第 2 期実施計画（成案）
<p>第 1 第 2 期実施計画策定の経緯（P 2）</p>	<p>（第 2 期実施計画の策定・推進）</p> <p>○ 地区意見交換会では、「通学環境への配慮や地域活性化の観点から高校を存続すべき。」との意見や、「教育水準の維持のためにも高校の統合は致し方ない。」との意見等がありました。このほか、ICT を活用した教育活動の充実、地域との協働による魅力ある高校づくり、高校における特別支援教育の充実等、幅広い御意見をいただきました。</p> <p>また、<u>全国からの生徒募集については、導入に賛成する御意見をいただいたほか、「地域校に導入することで入学者数の確保につながるのではないか。」との導入範囲に関する意見や、「県内中学生の入試環境に与える影響に配慮する必要がある。」との導入方法に関する意見等、様々な視点から御意見をいただきました。</u></p> <p>○ <u>このたび、改定後の基本方針や国の制度改正※等を踏まえるとともに、地区意見交換会における御意見等を参考としながら検討し、第 2 期実施計画（案）を公表しました。</u></p> <p>○ <u>第 2 期実施計画（案）は、第 1 期実施計画に引き続き、「充実した教育環境の整備」と「各地域の実情への配慮」の観点に意を用いて取り組むとともに、生徒の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための魅力ある高校づくりを更に推進するものであり、今後は、地区懇談会を開催するとともに、パブリック・コメントを実施するなど、より多くの御意見等をいただきながら更に検討を重ねてまいります。</u></p> <p>○ <u>第 2 期実施計画策定後は、計画に基づく各取組を着実に推進し、未来を担う子どもたちが変化の激しい時代にあっても、夢や志の実現に向けて成長することができるよう取り組みます。</u></p>	<p>【修正】</p> <p>（第 2 期実施計画の策定・推進）</p> <p>○ 地区意見交換会では、「通学環境への配慮や地域活性化の観点から高校を存続すべき。」との意見や、「教育水準の維持のためにも高校の統合は致し方ない。」との意見等がありました。このほか、ICT を活用した教育活動の充実、地域との協働による魅力ある高校づくり、高校における特別支援教育の充実、<u>全国からの生徒募集の導入等、幅広い御意見をいただきました。</u></p> <p>○ <u>これらの地区意見交換会における意見等を参考としながら、改定後の基本方針や国の制度改正等を踏まえ、令和 3 年 7 月 7 日に第 2 期実施計画（案）を公表しました。</u></p> <p>○ <u>案の公表後は、県内 6 地区延べ 1 1 回の地区懇談会の開催やパブリック・コメントの実施等により、計画策定の進め方に関する意見、統合や学級減の対象校に関する意見、全国からの生徒募集の導入に関する意見等、多くの御意見等をいただきました。その一つ一つを参考としながら検討を重ね、このたび、成案として策定したものです。</u></p> <p>○ <u>第 2 期実施計画は、第 1 期実施計画に引き続き、「充実した教育環境の整備」と「各地域の実情への配慮」の観点に意を用いて取り組むとともに、生徒の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための魅力ある高校づくりを更に推進するものです。</u></p> <p>○ <u>今後は、計画に基づく各取組を着実に推進し、未来を担う子どもたちが変化の激しい時代にあっても、夢や志の実現に向けて成長することができるよう取り組みます。</u></p>
<p>修正理由</p>	<p>パブリック・コメント及び地区懇談会が終了したこと等を踏まえ、記載内容を修正。</p>	

項 目	第 2 期実施計画（案）	第 2 期実施計画（成案）
第 2 学校 ・学科の充 実 (P3)	<p>Society5.0 時代が到来しつつあることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により、将来を見通すことが極めて困難な時代を迎えており、国においても、新時代に対応した高校教育改革を進めているところです。このような中、未来を担う子どもたちには、目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え協働的に議論することを通して、課題を解決していく力が求められています。</p> <p>このことから、全ての高校において、創意工夫を生かした特色ある教育活動を進めるとともに、相互に連携しながら、地域の期待に応え、本県の未来を担う人財を育成できるよう、次のとおり取り組みます。</p>	<p><u>【修正】</u></p> <p>Society5.0 時代が到来しつつあることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により、将来を見通すことが極めて困難な時代を迎えており、国においても、新時代に対応した高校教育改革を進めているところです。このような中、未来を担う子どもたちには、目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え協働的に議論することを通して、課題を解決していく力が求められています。</p> <p>このことから、全ての高校において、<u>生徒一人一人に対するきめ細かな指導の下</u>、創意工夫を生かした特色ある教育活動を進めるとともに、相互に連携しながら、地域の期待に応え、本県の未来を担う人財を育成できるよう、次のとおり取り組みます。</p>
修正理由	地区懇談会における意見等を踏まえ、全ての高校において生徒一人一人に対するきめ細かな指導を行うことを明確にするため修正。	

項目	第2期実施計画（案）							第2期実施計画（成案）								
	（1）中学校卒業生数の推移（見込み）							【修正】（1）中学校卒業生数の推移（見込み）								
第3 学校規模・配置 1 全日制課程 （P16）	第2期実施計画						R10~R14	第2期実施計画						R10~R14		
	第1期	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R14	第1期	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R14
	東青地区	2,492	2,487	2,348	2,263	2,319	2,216	1,942	東青地区	2,481	2,498	2,389	2,251	2,311	2,198	1,933
	西北地区	985	940	963	866	871	824	752	西北地区	983	939	959	873	880	827	758
	中南地区	2,112	1,961	1,946	1,950	1,922	1,935	1,727	中南地区	2,122	1,963	1,945	1,972	1,908	1,937	1,731
	上北地区	1,583	1,652	1,637	1,488	1,569	1,486	1,413	上北地区	1,585	1,658	1,643	1,503	1,579	1,481	1,373
	下北地区	578	525	566	479	547	464	405	下北地区	581	530	566	472	550	479	409
	三八地区	2,418	2,303	2,280	2,225	2,210	2,262	2,020	三八地区	2,438	2,322	2,298	2,235	2,214	2,270	2,042
	県計	10,168	9,868	9,740	9,271	9,438	9,187	8,259	県計	10,190	9,910	9,800	9,306	9,442	9,192	8,246
	前年比較	—	△300	△128	△469	167	△251	—	前年比較	—	△280	△110	△494	136	△250	—
	期間内増減	△2,189	△981					△928	期間内増減	△2,167	△998					△946
修正理由	令和3年5月1日現在の児童・生徒数を基にした推計値へ修正。															

項目	第2期実施計画（案）							第2期実施計画（成案）								
第3 学校規模・配置 1 全日制課程 (P17)	(3) 地区ごとの学校規模・配置計画							【修正】 (3) 地区ごとの学校規模・配置計画								
	■ 東青地区の学校規模・配置 ■							■ 東青地区の学校規模・配置 ■								
	① 中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）							① 中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）								
		第1期	第2期実施計画					R10~R14		第1期	第2期実施計画					R10~R14
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R14	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R14	
	中学校卒業生数	2,492	2,487	2,348	2,263	2,319	2,216	1,942	中学校卒業生数	2,481	2,498	2,389	2,251	2,311	2,198	1,933
	前年比較	-	△5	△139	△85	56	△103	-	前年比較	-	17	△109	△138	60	△113	-
	期間内増減	△430	△276					△274	期間内増減	△441	△283					△265
	募集学級数	46	42					37	募集学級数	46	42					37
	期間内増減	△8	△4					△5	期間内増減	△8	△4					△5
修正理由	令和3年5月1日現在の児童・生徒数を基にした推計値へ修正。															

項目	第2期実施計画（案）	第2期実施計画（成案）
<p>第3 学校規模・配置</p> <p>1 全日制課程（P18）</p>	<p>【参考】東青地区統合校の概要 統合校の方向性 開設準備委員会において、次のような「統合校が目指す姿」及び「統合校における教育活動の例」を踏まえ、統合校の名称のほか、具体的な取組等について協議します。</p> <p>【統合校における教育活動の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 生徒一人一人の学習ニーズに応じたきめ細かな指導や、社会的・職業的自立に向けた系統的なキャリア教育の推進 ■ 地域行事への積極的な参加等、地域の歴史・文化に対する理解や愛着を深める教育活動の推進 ■ 地域資源を活用したボランティア活動等、社会に積極的に関わり、地域の魅力を国内外に発信する教育活動の推進 	<p>【修正】 【参考】東青地区統合校の概要 統合校の方向性 開設準備委員会において、次のような「統合校が目指す姿」及び「統合校における教育活動の例」を踏まえ、統合校の名称のほか、具体的な取組等について協議します。</p> <p>【統合校における教育活動の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 生徒一人一人の学習ニーズに応じたきめ細かな指導や、社会的・職業的自立に向けた系統的なキャリア教育の推進 ■ 地域行事への積極的な参加等、<u>統合の対象となる学校がこれまで取り組んできた、地域の歴史・文化に対する理解や愛着を深める教育活動の推進</u> ・浪岡北島まつりへの参加や笛・ねぶた灯籠づくり等 ■ 地域資源を活用したボランティア活動等、<u>統合の対象となる学校がこれまで取り組んできた、社会に積極的に関わり、地域の魅力を国内外に発信する教育活動や豊かな心、健やかな体等の生きる力を育む部活動の推進</u> ・「青西観光大使」や「青西おもてなし隊」等の活動を通して、生徒が主体的に企画・運営する「青西人づくり・街づくりプロジェクト」等 ・浪岡高校における空き缶壁画の制作・展示等 ・浪岡地域において築き上げてきたバドミントンの活動等
<p>修正理由</p>	<p>地区懇談会における意見等を踏まえ、青森西高校と浪岡高校において両校が所在する地域でこれまで取り組んできた教育活動等について、開設準備委員会において協議していくことをより明確にするため修正。</p>	

項目	第2期実施計画（案）							第2期実施計画（成案）								
第3 学校規模・配置 1 全日制課程 (P19)	■ 西北地区の学校規模・配置 ■							【修正】 ■ 西北地区の学校規模・配置 ■								
	① 中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）							① 中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）								
		第1期	第2期実施計画					R10~R14		第1期	第2期実施計画					R10~R14
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R14		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R14
中学校卒業生数	985	940	963	866	871	824	752	中学校卒業生数	983	939	959	873	880	827	758	
前年比較	-	△45	23	△97	5	△47	-	前年比較	-	△44	20	△86	7	△53	-	
期間内増減	△373	△161					△72	期間内増減	△375	△156					△69	
募集学級数	19	16~17					14~15	募集学級数	19	16~17					14~15	
期間内増減	△8	△2~△3					△2	期間内増減	△8	△2~△3					△2	
修正理由	令和3年5月1日現在の児童・生徒数を基にした推計値へ修正。															

項目	第2期実施計画（案）							第2期実施計画（成案）								
第3 学校規模・配置 1 全日制課程 (P20)	■ 中南地区の学校規模・配置 ■ ① 中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）							【修正】 ■ 中南地区の学校規模・配置 ■ ① 中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）								
		第1期	第2期実施計画					R10~R14		第1期	第2期実施計画					R10~R14
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 14	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 14	
	中学校卒業生数 前年比較 期間内増減	2,112 — △442	1,961 △151	1,946 △15	1,950 4	1,922 △28	1,935 13	1,727 — △208	2,122 — △432	1,963 △159	1,945 △18	1,972 27	1,908 △64	1,937 29	1,731 — △206	
募集学級数 期間内増減	39 △5	36 △3					33 △3	39 △5	36 △3					33 △3		
修正理由	令和3年5月1日現在の児童・生徒数を基にした推計値へ修正。															

項目	第2期実施計画（案）							第2期実施計画（成案）								
第3 学校規模・配置 1 全日制課程 (P21)	■ 上北地区の学校規模・配置 ■							【修正】 ■ 上北地区の学校規模・配置 ■								
	①中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）							①中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）								
		第1期 R 4	第2期実施計画 R 5 R 6 R 7 R 8 R 9					R10~R14 R 14		第1期 R 4	第2期実施計画 R 5 R 6 R 7 R 8 R 9					R10~R14 R 14
	中学校卒業生数 前年比較 期間内増減 募集学級数 期間内増減	1,583 - △379 34 △9	1,652 △15 △97 31~32 △2~△3					1,486 △83 △73 29~30 △2	1,585 - △377 34 △9	1,658 △15 △104 31~32 △2~△3					1,481 △98 △108 29~30 △2	
②各校の学校規模（単位：学級）							②各校の学校規模（単位：学級）									
	年度・学級数等		第1期	第2期実施計画		備考			年度・学級数等		第1期	第2期実施計画		備考		
学校・学科			R 4	R5~R9	期間内増減			学校・学科			R 4	R5~R9	期間内増減			
三本木	普通		6	6		重点校		三本木	普通		6	6		重点校		
(中略)								(中略)								
三沢商業	商業		2	2				三沢商業	商業		2	2				
	情報処理		1	1					情報処理		1	1				
地区計			3 4	3 2		△ 2		地区計			3 4	3 2		△ 2		
※ 三沢高校については、第1期実施計画に基づき令和4年度に学級減を予定していましたが、第2期実施計画期間の中学校卒業生数の増加・減少の幅が大きくなることが見込まれ、これらの変動に対応する必要があることから、第2期実施計画期間に学級減を行う予定です。 ※ 地域校の規模・配置については、基本方針に基づき入学状況により対応することとなります。 （六ヶ所高校については、令和2～3年度の入学者数が2年間継続して40人以下のため、令和4年度に1学級規模とする予定です。）							※ 三沢高校については、第1期実施計画に基づき令和4年度に学級減を予定していましたが、第2期実施計画期間の中学校卒業生数の増加・減少の幅が大きくなることが見込まれ、これらの変動に対応する必要があることから、第2期実施計画期間に学級減を行います。 ※ 地域校の規模・配置については、基本方針に基づき入学状況により対応することとなります。									
修正理由	・令和3年5月1日現在の児童・生徒数を基にした推計値へ修正。 ・令和4年度募集人員計画の公表に伴う記載内容の修正。															

項目	第2期実施計画（案）							第2期実施計画（成案）								
第3 学校規模・配置 1 全日制課程 (P22)	■ 下北地区の学校規模・配置 ■							【修正】 ■ 下北地区の学校規模・配置 ■								
	①中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）							①中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）								
		第1期	第2期実施計画					R10~R14		第1期	第2期実施計画					R10~R14
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R14		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R14
	中学校卒業生数 前年比較 期間内増減	578 - △111	525 △53 △111	566 41 △114	479 △87 △114	547 68 △114	464 △83 △59	405 - △59	中学校卒業生数 前年比較 期間内増減	581 - △108	530 △51 △102	566 36 △102	472 △94 △102	550 78 △102	479 △71 △70	409 - △70
募集学級数 期間内増減	14 △3	11~12 △2~△3					10~11 △1	募集学級数 期間内増減	14 △3	11~12 △2~△3					10~11 △1	
修正理由	令和3年5月1日現在の児童・生徒数を基にした推計値へ修正。															

項目	第2期実施計画（案）	第2期実施計画（成案）
<p>第3 学校規模・配置</p> <p>1 全日制課程（P23）</p>	<p>【参考】下北地区統合校の概要 統合校の方向性 開設準備委員会において、次のような「統合校が目指す姿」及び「統合校における教育活動の例」を踏まえ、統合校の名称のほか、具体的な取組等について協議します。</p> <p>【統合校における教育活動の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学科や系列の枠を越えた探究活動等、総合学科と工業科の連携による教育活動の推進 ■ 地域の社会人や有識者の積極的な活用や多様な選択科目の開設等、生徒の進路意識を高める教育活動の推進 ■ 熟練技能者による技術指導や大学・企業との連携による最先端技術の学習等、高い専門性を身に付けさせる教育活動の推進 	<p><u>【修正】</u></p> <p>【参考】下北地区統合校の概要 統合校の方向性 開設準備委員会において、次のような「統合校が目指す姿」及び「統合校における教育活動の例」を踏まえ、統合校の名称のほか、具体的な取組等について協議します。</p> <p>【統合校における教育活動の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 学科や系列の枠を越えた探究活動や科目履修等、総合学科と工業科の連携による教育活動の推進 ■ 地域の社会人や有識者の積極的な活用や多様な選択科目の開設等、生徒の進路意識を高める教育活動の推進 ■ エネルギーや介護福祉等に関する科目の開設等、<u>地域の特性や産業構造を考慮した教育活動の推進</u> ■ 熟練技能者による技術指導や大学・企業との連携による最先端技術の学習、<u>高度な職業資格の取得等</u>、高い専門性を身に付けさせる教育活動の推進
<p>修正理由</p>	<p>地区懇談会における意見等を踏まえ、統合校における教育活動として、総合学科と工業科の学科・系列の枠を越えた科目履修、エネルギーや介護福祉等に関する科目の開設、現在大湊高校及びむつ工業高校の生徒が取り組んでいる高度な資格取得等について、開設準備委員会において協議していくことをより明確にするため修正。</p>	

項目	第2期実施計画（案）							第2期実施計画（成案）								
第3 学校規模・配置 1 全日制課程 (P24)	■ 三八地区の学校規模・配置 ■							【修正】 ■ 三八地区の学校規模・配置 ■								
	①中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）							①中学校卒業生数・募集学級数の推移（見込み）（単位：人・学級）								
		第1期	第2期実施計画					R10~R14		第1期	第2期実施計画					R10~R14
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R14	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R14	
中学校卒業生数	2,418	2,303	2,280	2,225	2,210	2,262	2,020	中学校卒業生数	2,438	2,322	2,298	2,235	2,214	2,270	2,042	
前年比較	-	△115	△23	△55	△15	52	-	前年比較	-	△116	△24	△63	△21	56	-	
期間内増減	△454	△156					△242	期間内増減	△434	△168					△228	
募集学級数	39	36~37					32~33	募集学級数	39	36~37					32~33	
期間内増減	△6	△2~△3					△4	期間内増減	△6	△2~△3					△4	
修正理由	令和3年5月1日現在の児童・生徒数を基にした推計値へ修正。															

項目	第2期実施計画（案）	第2期実施計画（成案）
<p>第4 魅力ある高校づくり</p> <p>1 学校・家庭・地域等との連携の推進（P29）</p>	<p>各校種等との連携の推進</p>	<p>【追加】各校種等との連携の推進</p> <p>【共同事業体（コンソーシアム）における取組例】</p> <p>大学や研究機関、国外の教育機関等との連携体制を構築しながら理数分野における研究活動を行っている五所川原高校、地域と連携し地域資源を活用した探究活動を行っている木造高校や鱒ヶ沢高校、地域や企業と連携し、ものづくりや農業等の専門性を高める研究活動を行っている五所川原工科高校や五所川原農林高校等により共同事業体（コンソーシアム）を構築する。</p> <div data-bbox="1243 598 1512 861"> <p>想定されるテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾の教育機関と連携し、グローバルな視点に立った共同研究 ・地域の農作物の輸出促進に向けた探究活動 ・地域活性化に向けた調査・研究等 </div> <div data-bbox="1243 885 1512 1316"> <p>期待される効果</p> <p>各校の特色ある教育活動の推進に当たって、共同事業体（コンソーシアム）を活用しながら、それぞれの高校等の教育資源を共有することで、単独では行うことが難しい領域横断的な学びや、研究機関の最先端の理論を取り入れることなどが可能となり、教育の質の向上が期待できる</p> </div> <div data-bbox="1512 598 2139 1157"> </div>
<p>修正理由</p>	<p>地区懇談会における意見等を踏まえ、共同事業体（コンソーシアム）を構築・活用し、高校等と連携した各校の特色ある教育活動を進めることにより、教育の質の向上につなげることを明確にするため取組例を追加。</p>	